



木童 通信 vol.39

平成 24 年 6 月 発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00
close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ 1F

TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126

URL: <http://www.kodoh.co.jp> E-mail: Tokyo@kodoh.co.jp

★産地を訪ねて ～高知県 土佐杉・魚梁瀬杉～



<写真a>

林産地への視察旅行、今回は高知県の林業と製品を見に行ってきました。まずは、山に入ります。案内してくれたのは長年国有林を管理する仕事をされていたドライウッド土佐会の顧問・戸田氏です。

一目見て手入れしている山とされていない山が判るベストポジションに連れて行ってもらいました。(※写真a) 低木の広葉樹が生えている明るい山が間伐されている山。下草さえ生えていない暗くて杉がヒョロ～と伸びている山が手入れされていない山です。ちゃんと光合成が出来ていないモヤシのような杉は、柱にも梁にも製材出来ません。その点、農林漁業が主産業の高知県は間伐などの育林にも力を入れているそうです。



<写真b>

次に、小割材の製材所とその地区の原木市場を見学。吉野系の杉が多く、他地方の生産者が見たら“うらやましい”と声を上げそうな丸太の丸太がたくさん並んでいました。(※写真b) また高知は杉だけでなく、**桧の生産量も多く**、木曾か四万十かといわれるほどの産地であり、市場には桧用の土場が広く取られていました。

山から下りて高知市に入り、内藤廣建築設計事務所設計の牧野富太郎記念館通称牧野植物園を見学。ここは安曇野の岩崎ひろ美術館と同じく、信州産のから松集成材を構造材に使っている建物です。その後の高知駅も内藤氏が設計していますが、こちらには地元の杉集成材が使われています。



<写真c>



<写真d>

次は市内の木材団地へ。プレカット工場と銘木原木市場を視察です。プレカット工場は最新機種が揃っている訳ではありませんが、職人による手加工を多用し、木童が好む**長ホソ込み桧仕様**が当たり前の世界でした。(※写真c) そしてその日の夕に原木市場を見学。直径1mの天然魚梁瀬杉が威風堂々と土場に転がっていました。(※写真d) もう伐採出来ない天然秋田杉の産地からも買い付けに来るそうですが、市場長は「かわいそうなくらい安い」と嘆いていました。桧も過去最低の価格だそうです。これが産地の現状です。林業が基幹産業の地方県は本当に大変な思いをしています。



<写真e>



<写真f>

2日目は、山中の国道439号線(通称よさく)を通り、県央に位置する仁淀川町の木小物生産の工場へ。10数年前は2時間近く掛かった道のりが約1時間、かなり便利になりました。

久しぶりに行くと目を引く**パークボイラー**が設置されていました。(5/3木童のブログ参照、写真e) この工場は76歳の名物会長を筆頭に、考え方が先進的で、行動力があります。

次は、高知県2軒目のプレカット工場へ。まずは自慢のモデル住宅を案内していただきました。加工精度も良く**8寸の大黒柱も見事に乾燥**(※写真f)していました。ここの工場は木童も注目している加熱蒸気式乾燥機が2+1台設置されており、乾燥技術も高水準にあるようです。また、加工技術も先日の工場と同じく木童が係わる設計士さん達の個性的な木組みにも十分対応できる内容でした。そして何より**土佐材は「美人」揃い**です。

温かい人達と出会った二日間、濃い内容の視察でした。高知県とは、10年以上板物や小物類が中心のお付き合いでしたが、今後は構造材にも期待して下さい。個人的には、出身県の材も出していきたくと思っています。

木童 NEWS ラインナップ

- 告知■ 6月より毎月第1土曜日は「建築家が手掛ける24坪の家」無料住宅相談会を開催します。
★6/2(土) 13時～16時 建築家：満田正二氏 ★7/7(土) 13時～16時 建築家：宮野人至氏

★木童のカタログ 床壁材が新しくなります

- NEW **道産たも(写真上)**… 家具や枠材でおなじみの材を、床材として仕上げました。タモと言えば輸入材の代表格ですが、木童が提案するのは、もちろん国産材です。
- NEW **みちのおく山桜(写真下)**… 以前より問い合わせの多かったサクラ。乾燥レベルのアップを図り、ついに標準化できる在庫量を持てるまでになりました。幅広材も対応します。



以上2樹種の追加により、南波から松1つからスタートした木童の床壁材も、今では標準で18種を持つまでになりました。今回の改訂では広葉樹がますます充実した他、杉やヒバなど木童の定番品も少しずつ改良を加えています。6月より順次新しいカタログに切り替え、皆様のお手元にお届け致します。サンプルのご依頼もお気軽にお申し付けください。

★家づくりの現場から ～和島トゥール・モンド 設計：チーム・テラ～

築86年の廃校になった小学校を地域コミュニティの核になるべく、レストラン事業を中心にリノベーションした複合施設です。設計のチーム・テラ小川氏がこだわったのは、貴重な木造校舎を今までの86年からこれからの100年も存在できる施設に作り上げる事。そのために地域材、国産材を使いたいとの要望から、床には、耐久性の高い南部クリを厚さ24mmの特注品で使用。デッキも同じく南部クリです。天井には地元の越後杉の羽目板を使用しています。もちろん、「使えるものはそのまま使う」ということで、無垢材の階段や手作りの建具は小学校時代の物を大切に使用しています(新規建具は源平パネルで製作しました)。新旧の調和の取れた美しい空間が完成しました。



床・デッキ共に厚 24mm。床材は特注対応の厚さです。

床材は古色風の着色仕上げ。現存の階段とも馴染む色。

トイレの建具&中の間仕切り壁は源平パネル製。

<和島トゥール・モンド>

新潟県長岡市和島中沢乙 64-1 (旧島田小学校)
Tel 0258-74-3002

※一般公開は7月1日です。

★銘木！唐木、カリンの1枚板

木童には珍しい“銘木”と呼ばれる類の板が入荷しました。しかも「国産ではない」ということで、木童らしくないと思われ方もありますが、花梨は黒檀・紫檀と共に唐木と呼ばれる江戸時代以前から使われている日本の建築文化に深く関わる代表的な樹木であり、名家の式台や上框には欠かせないものでした。実物をみていただければただ一言「美しい！」と声が上がること間違いなしの板です。カリンは東南アジア原産の木で、昭和50年頃まではどんと輸入されてきていましたが、原木量の減少から輸入量が減り始め、今は純粋なカリンの木は本当に少なくなりました。似たような木をカリンと称したもののや、違法伐採で正規ルートでないものが流通したりしています。今回ショールームに新しく入った板は、日本に来てから少なくとも30年以上は経っているという代物です。(先代社長が現役時代に買いつけた板ですから！)ということで、乾燥の具合はばっちりの太鼓判。それ相応のお値段がついておりますが、気に入っていただけた方があればお値段の交渉にも応じますので、ぜひご相談下さい。とはいえ、“金額では計れない価値”のある一枚であることは確かです。

樹種：カリン
長 2425mm
巾 650mm
厚 65mm
価格
1,800,000円

企画展のご案内

- 第122回企画展 6/25(月)～30(土) 「おびのびの家 第10弾(仮)」 NPO 法人木の家だいきの会
 - 第123回企画展 7/23(月)～28(土) 「おびのびの家 第11弾(仮)」 NPO 法人木の家だいきの会
- ※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。